

北部九州の自動車産業に貢献

パーツネット
北九州

生産台数 過去最高に

北九州地域の自動車産業振興を目的に、2005年11月に設立した「パーツネット北九州(北九州地域自動車部品ネットワーク)」。現在は地域の自動車産業の発展に貢献し、自動車産業の事業拡大や新規参入の取り組みを続けている。また他地域とも連携して北部九州における部品の現地調達率向上にも取り組んでいる。リーマン・ショックとその後の東日本大震災により九州の自動車生産も一時期大きく落ち込んだが、現在は回復基調にある。コンパクトなサプライチェーンが完成しつつある九州の中でも、中核的位置付けとしてパーツネット北九州は注目されている。



セミナーなどを通じて事業拡大や新規参入の取り組みを続ける



海外ミッションなど活動も多彩

浅野 佳孝 会長に聞く (デンソー北九州製作所社長)

「北部九州地域の自動車生産の現状をどう捉えていますか。」
「2011年度は131万台と非常に好調に推移した。特に日産自動車九州(福岡県苅田町)とダイハツ九州(大分県中津市)が好調だった。今後この調子を維持して、12年度は念願の150万台達成と行きたいところだ。だが下期はエコカー補助金が終了するため、150万台実現は黄色信号と見ている。夏場の境にアゲンストの風が吹き始めるように感じる。」

「パーツネット北九州は設立から7年目を迎えています。その間リーマン・ショックや東日本大震災など大きな問題も発生しました。現状は。」
「他地域と比べて九州の優位な点の一つに、この地域にはサプライチェーンがいくつもあつた。元気のいい会員企業もいるが、一方で非常に活発に活動している会社も多い。国から開発に関する補助金をもらって活動しているところも少なくない。」

成功のモデル作る

「成功のモデルを作る」といふのが会員間で行えるし、ある程度地域に何をもそろってるといふのは良いことだと考えている。例えばバンパーやフェンダーなどは良いのだが、圧倒的に標準化された精密部品を効率良く、大量に生産する会社はまだ少ない。これを強化しない限り比率はなかなか向上しないのではないかと考えている。海外から自動車メーカーは海外からの部品調達を進めています。地場企業も安価とされている以上、地元での雇用確保という大前提がある。ただプラスチック部品など安価な部品であれば輸入することもあり得る。デンソーも日本でも製造する部品と海外から調達する部品は分けていて、この動きは今後さらに加速するだろう。」



「11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

「11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

相次ぐ 展示・商談会

九州に立地する自動車メーカー14社の11年度生産台数は、約131万台と過去最高を記録した。東日本大震災やタイの洪水被害などで各社減産に追い込まれたが、その後世界市場での伸びや環境対応車の販売増で生産数量が大きく伸びた。12年度はさらにこの数値が向上と見込まれている。

展示・商談会

11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

展示・商談会

11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

展示・商談会

11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

展示・商談会

11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

展示・商談会

11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

展示・商談会

11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

展示・商談会

11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

展示・商談会

11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

展示・商談会

11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学

展示・商談会

11年秋には新たな取り組みとして電気自動車(EV)部品への参入を支援する「環境にやさしい次世代自動車勉強会」を立ち上げた。北九州産業学



自動車メーカーは地域を問わず調達を拡大 日産車体九州生産ライン

トヨタ自動車と日産自動車は国内生産の縮小を打ち出しているが、生産拠点の一つ九州に限って言えば、トヨタ、日産両グループ合計の生産能力が154万台を数える九州では、依然自動車産業が地域を支える重要な産業であることに違いはない。

高まる地場調達率

12年度の同社の生産台数見込みは前年度比5万増の35万台。一方、九州で最大の生産を誇る日産グループは、11年度は日産自動車九州同苅田町(同)が51万9000台、日産車体九州(同)が1万7200台と合計で59万1000台をこの地で生産した。6月に発売した軽乗用車「N-V350」の九州での部品調達率は50%。このほか中国、韓国からも40%を調達した。合計すると実に90%の部品が本州以外から調達された。高機能の部品であれば地域を問わず積極的に調達する方針のため、地場企業の参入余地は今後も大いにあると見られる。

「非鉄鍛造・ダイカスト」のエキスパート企業
TOBATA TURRET
・非鉄鍛造(真鍮、銅、アルミ、etc) ・アルミダイカスト加工
・摩擦圧接加工 ・精密切削加工 ・表面処理(外注)ほか

自動車部品の軽量化を実現する
アルミ合金の「高速恒温鍛造技術」

株式会社 戸畑ターレット工作所
本社工場 〒800-0211 北九州市小倉南区新倉根11-31 TEL:093-471-7403 FAX:093-471-7808
第2工場 〒800-0205 北九州市小倉南区沼南町3-18-15 TEL:093-475-8864 FAX:093-475-8865
<http://www.t-turret.co.jp/>

人と技術の未来を創造する
Human & Technology

【主要業務内容】

- 自動車製造エンジニアリング事業
- FAシステムエンジニアリング事業
- 大型樹脂成形(自動車部品)事業
- 製鉄用連続鋳造関連設備事業
- ICレイ成形事業
- 各種ロールめっき・研磨事業
- 鉄鋼・化学工場の常務事業

三島光産株式会社
〒805-8503 北九州市八幡東区枝光二丁目1番15号
TEL (093)671-8500 FAX (093)671-8503
<http://www.mishimakosan.com/> 三島光産

DENSO カーエアコン・ディーゼル燃料噴射部品製造

株式会社デンソー北九州製作所
〒807-0801 福岡県北九州市八幡西区本城5-4-1
Tel:093-693-1111 Fax:093-693-1445
<http://www.denso-kitakyushu.jp>

油圧のプロ集団「油圧のことはリョーワに聞け!!」
がんばれ油圧!! 油圧装置の急な停止や油圧配管の破裂など、装置に関するトラブルは、当社にお任せください!

当社ホームページで、さまざまなトラブル対応事例をご紹介します!

油圧メンテナンス 検索

<http://www.e-ryowa.com>

株式会社リョーワ 〒800-0304 福岡県京都府田町島越町10-5
TEL 093-436-0113 FAX 093-436-4366

不動産鋼板工業の
錆相談室

お陰様でHPアクセス数
30,000件突破!!
錆でお困りの方に
大変ご好評頂いております。

防錆フィルム袋 立方体袋
売れています

不動産鋼板工業株式会社 防錆事業室
電話 093-861-0825
FAX 093-883-2358

Tonez TOYO METAL TREATING CORPORATION

幅広い種類の
素材熱処理が可能な専門工場

■特色

- 大阪・高砂各工場で開発した流れを止めず、独自の研鑽を重ねた技術で、九州、山口地域の顧客ニーズに対応
- スポット品から量産品まで豊富な納期を確保
- グラム単位からトン単位まで豊富な実績
- 大形素材は最大50トンまで可能
- 棒鋼(長尺)は後処理矯正まで一貫受注
- 高速回転部品(φ1m×長さ4m)は専用設備で最高品質の処理

■熱処理加工内容

- 焼入れ焼戻し ●回溶熱処理 ●焼ならし・焼なまし
- 無酸化焼入れ焼戻し ●ガス浸炭焼入れ焼戻し ●ガス窒化
- アルミ合金の熱処理

九州東熱株式会社
〒803-0186 北九州市小倉南区新道寺936番地3
TEL 093-451-1821 FAX 093-451-3675
<http://www.tonez.co.jp>

パーツネット北九州の発展を応援します。